

たまかわ

1999

8

No.396

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA



地域ぐるみで美化活動

村青少年育成村民会議南有釜地区推進協議会（小原昭昭会長）では、7月25日（日）に地区内の美化清掃事業を行いました。

同事業は、青少年の健全育成と社会参加を進めることを目的としたもので、今年で15回目となりました。

小学校4年生から高校3年生までの児童、生徒と老人クラブ会員などが都々古別神社と大寺城跡の清掃活動を行いました。

水は貴重な財産

わたしたちが利用できるのは 地球上の淡水のわずか0.8%

8月1日 水の日
8月1日～7日 水の週間

「水の惑星」といわれる地球。しかし、その水の約97%は海水です。淡水はおよそ3%にすぎません。しかも淡水のなかでわたしたちが利用できる水は、河川・湖沼・地下水の一部で、わずか0.8%でしかないのです。そのほかの淡水のほとんどは、南極や北極の水です。



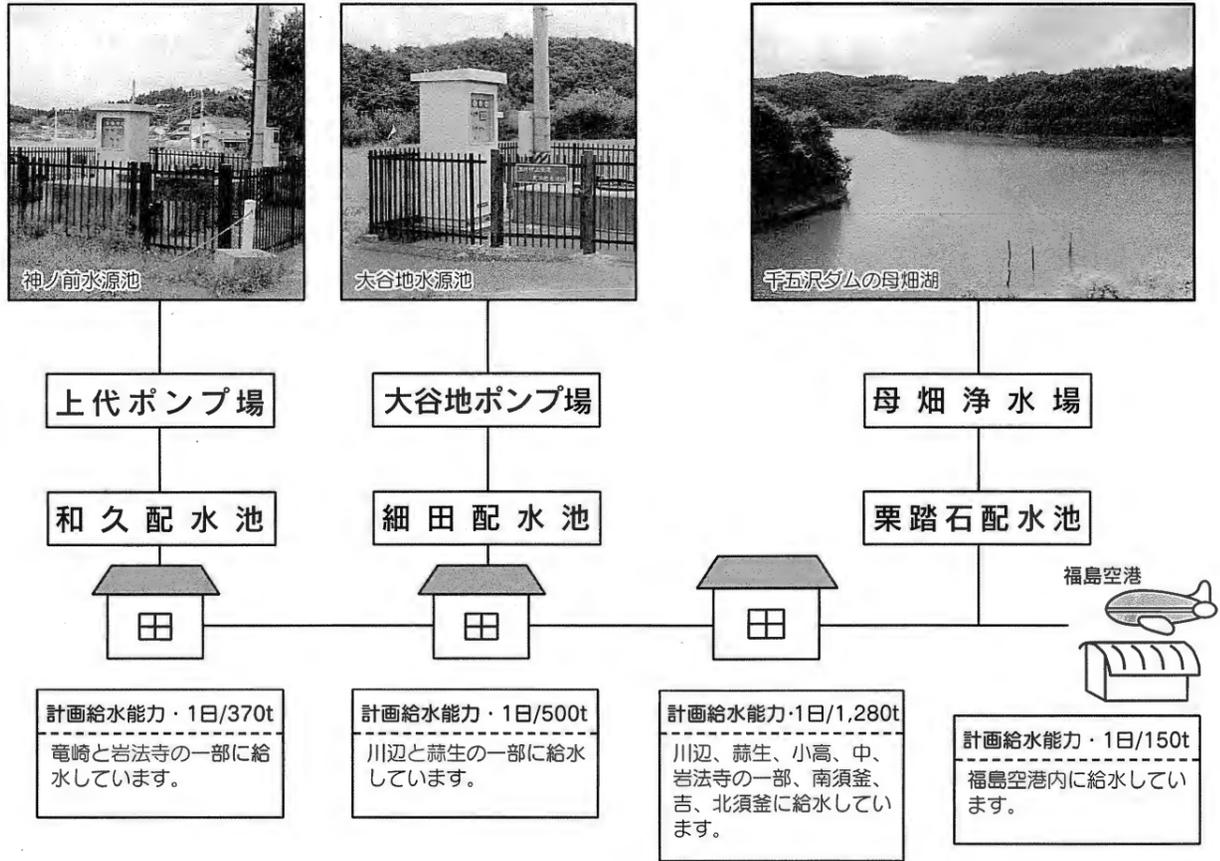
生命の源である水

水は蛇口をひねれば出てくるのが当然でも、災害、水不足など不測の事態に遭ったときには、それは当たり前のことではなくなります。わたしたち人間はもとより地球上のあらゆる生物にとって必要なものは、まず水。水は生命の源です。「水のある暮らしは当たり前」ではなく、「水は暮らして欠かすことのできないもの」として、ふだんから水を無駄遣いしないよう心掛けましょう。

期待される 海水の淡水化

これからの水資源開発の一つとして期待されているものに、海水の淡水化があります。すでに一部の離島などで生活用水などに利用されており、平成11年3月現在で、一日約13万㎡の淡水化が可能になっています。今後一層の実用化を図るため、コストダウンなどを目的とした技術開発が進められています。

村・上水道のしくみ



私たちの使う水 どうなっているのかな

私たちが毎日使っている水道水。この水は、どのようなしくみで私たちの家庭に給水されているか知っていましたか。玉川村の上水道事業は、千五沢ダム、大谷地水源(小高)、神ノ前水源(竜崎)の3か所から取水して皆さんの家庭などに給水されています。

**給水能力は、最大で
一日2,300トン**

現在、村水道事業で私たちに給水できる能力は、一日当たり最大で2,300トンです。しかし、この数字は、あくまでも条件が良い場合に限られます。水不足などの悪条件があると能力を発揮することはできません。

平成10年度末における村の給水戸数は、1,561戸です。また、給水人口は5,905人で、村の全人口で除して得た村の給水人口の割合は77.8%となっています。

年間の給水量は、608,133トンで、一日の平均給水量は、1,666トンとなっています。また、一日一人当たりの給

水量は282.1ℓとなります。玉川村は、上水道事業のほかに山小屋と北須釜奥撫・三蔵地区を給水対象とした須釜簡易水道事業が行われており、一日当たり170トンの計画給水能力で約500人余りの方々が生きています。

**水は大切に
使いましょう**
節水にご協力を!!

生活様式の変化に伴い年々水の需要は増えています。また、今年は暑い日が続いており、水不足はたいへん深刻な問題です。水は、限りある資源です。大切に使いましょう。各家庭での節水にご協力をお願いします。

すぐにできる家庭での節水対策

洗濯でも、ためすぎれば1回で110ℓの水ですみます。注水すぎだと165ℓにもなります。



バケツ洗いなら30ℓ程度ですむ洗車も、流しっぱなしのホース洗いでは、240ℓ以上の水が必要です。



コップ3杯程度ですむ歯みがきも、水の流しっぱなしでは、30秒で、約6ℓのムダ。



浴槽は小さなものでも200ℓ。残り湯の半分くらいは、洗濯・掃除・まき水に使えます。



洗面、炊事には、水の出を調節して…。節水コマもあります。



水洗トイレなどでは、節水型機器も開発されています。(水洗タンクに水を入れたピンなどを沈める場合はタンクの大きさに合ったものを使ってください)



中学生国内研修報告(上)

北海道 道央地区 を研修

今年度の中学生国内研修は、7月27日から29日までの2泊3日の日程で、村内の中学2年生100名全員が参加して北海道の道央地区を研修しました。
福島空港から往復に飛行機を使用し、北海道の雄大な自然と文化にふれあう3日間の研修は、生徒たちに大きな感動を与えました。



豊浦浜での地引き網を体験

北の大地『北海道』の自然を体感

福島空港内で結団式が行われ、車田村長と団長の小林教育長からそれぞれあいさつが行われました。須釜中学校の鈴木由喜枝さんが生徒を代表して研修の決意を述べました。
そして、福島空港から千歳空港までの飛行機の搭乗体験から研修事業は始まりました。

札幌市内に宿泊したあとの二日目は、ルスツリゾートでの体験学習や豊浦浜での地引き網の体験を行いました。
最終日は、室蘭市の地球岬、アイヌ民族の白老ポロトコタン、日本航空専門学校などを視察して帰途につきました。
福島空港到着後に解団式が行われ、小林団長のあいさつのもと、泉中学校の奥野広詩君が生徒代表でお礼の言葉を述べました。

(右ページへつづく)



結団式で鈴木由喜枝さんが決意を述べる



1年間 お疲れさまでした アンナ先生

昨年の9月から村英語指導助手として、本村小生の英語教育や村民を対象にした英会話教室を担当していましたアンナ・タベレルさんは、今月で任期が終わってオーストラリアに帰国することになりました。

アンナ先生は、気さくな人柄から子どもたちの人気者であり、とても勉強熱心な先生でした。帰国後は、マッコリー大学に復学して、将来は、学校の先生になるための勉強に励むとのことでした。

皆さん、もう一年間かぞえてしまいました! 玉川村に初めて来た時とても不安な気持ちでいたけれど、皆さんに親切にしてくださいました。玉川村の雰囲気や暖かさが、心に残るばかりでございました。皆さんに会えて私は幸せです。この玉川村に住むことができてとても良かったと思います。皆さんと過ごす時間は、私にとって本当に大切な時間です。この経験は一生忘れず大切にしたいと思います。玉川村の一番の思い出は.....? 多分この手紙に書くスペースがあまりなくとも困りました! ごめんなさい。しかし、私の一番好きな思い出の中には、子供たちと遊んだこと、私はホームシックになった時子供たちと遊んだこと、いろいろな思い出がございました。いつもいつも楽しかったです。そして私にとって初めて先生の経験でもあったので、緊張していたと思いますが、良い子供たちばかりで楽しく過ごすことができました。玉川村の子供たちは本当にやさしい心でいっぱいだと思います。私は一生忘れず大切にしたいと思います。私にとって素晴らしい一年間でした。玉川村の事がさびしく思いますが、この経験を生かしてオーストラリアに帰っても頑張りたいと思います。短い間でしたが本当にありがとうございました。皆さん お元気で、アンナ・タベレル

第28回玉川村少年球技大会

真夏の炎天下で熱き戦い

夏休み恒例、児童のスポーツの祭典、玉川村少年球技大会が須釜小学校校庭と体育館を中心に開かれました。
玉川村青少年健全育成村民会議主催の同大会は、児童の夏休み中の事故防止と健全育成を目的に行われ、今年で第28回目となりました。
村内の各子供育成会ごとにチームを編成し、ソフトボールに11チーム、ミニバスケットボールに9チームが参加して行われました。

ソフトボールは、須釜小学校校庭の4コートで熱戦が繰り広げられました。決勝戦は、川辺対中となり、8対1で川辺が優勝を飾りました。
また、ミニバスケットボールは、北須釜対小高で決勝戦が行われ、10対9の緊迫したゲームで北須釜が優勝を飾りました。
なお、大会の結果は次のとおりでした。

Table with 2 columns: Softball and Mini Basketball. Softball: 優勝 川辺, 2位 中, 3位 北須釜. Mini Basketball: 優勝 北須釜, 2位 小高, 3位 中山屋.



ソフトボールで優勝した川辺チーム



ミニバスケットボールで優勝した北須釜チーム

村農業委員会長に圓谷氏

第17期玉川村農業委員会の初めての総会が、7月26日に村就業改善センターで開催されました。



新会長の圓谷房夫さん

会長の互選については、前会長職務代理者の圓谷房夫さん(南須釜)が第17期の会長に選出されました。
また、会長職務代理者には溝井賢彦さん(小高)と鈴木茂夫さん(北須釜)が選出されました。

東京玉川会

会員から古本を村へ寄贈

東京玉川会(大木吉孝会長)では、7月11日に開かれた総会で、会員所有の古本をふるさと玉川の図書室に贈る事業を承認しました。



村図書室内に東京玉川会文庫が設置されました

この度、会員の増子道男さん(江戸川区)、大木吉孝さん(台東区)、真野目力男さん(世田谷区)から古本が村に送られてきました。
村図書室を管理している公民館では、会員の皆さんから送られてきた本を「東京玉川会文庫」として配置することにしました。
石森公民館長は「玉川会の皆様の善意を無にすることがないよう『東京玉川会文庫』と名付けて、村民の皆さんの利活用を努めたいと思います」と話していました。

県民スポーツ大会石川地区大会

家庭バレー 小高が優勝

ソフト・南須釜 卓球・玉川卓球クラブ が準優勝



優勝した小高チームの皆さん

県民スポーツ大会の石川地区大会は、7月18日(日)に石川町総合体育館で家庭バレーボール、卓球などが行われました。

家庭バレーボールには、本村代表の小高チームと南須釜チームが出場し、熱戦の結果小高チームが優勝、南須釜チームが3位になりました。卓球に出場した玉川卓球クラブも準優勝に輝きました。



準優勝した南須釜チームの皆さん

また、雨天のため延期された壮年ソフトボール大会は、7月25日(日)に石川町民グラウンドで行われ、本村代表の南須釜と山小屋の両チームは初戦を勝利し、南須釜チームは、見事、準優勝を飾りました。

見事な `花の街道、 住民の力で。花いっぱい運動

代表者会議のメンバーが視察

村花いっぱい運動協議会(車田次夫会長)では、8月3日に花いっぱい運動に参加している各ボランティア団体の代表者による花の管理状況の視察を行いました。視察に参加した代表者27名は、マイクロバスに乗って、村内37箇所の地植え箇所を巡回しました。マリーゴールド、サルビア、アゲラタムなどの花々が見事に咲きそろい、ボランティアによる除草も行われており、パッチワーク模様の花々に代表者の皆さんも感心していました。



中老人クラブ管理の植栽マスを視察する代表者の皆さん

小体連球技大会

サッカーで玉一小A優勝

第18回石川地区小学校体育連盟球技大会は、7月13日に玉川村2会場、石川町2会場の4会場で行われました。大会は、それぞれ会場ごとにリーグ戦で行われ、猛暑のなか熱い戦いが繰り広げられました。

玉川第一小学校会場は、改築工事のため、サッカー競技を村民グラウンドに移して行われました。サッカー競技に出場した玉川第一小学校Aチームは、確実に勝利を収めました。

(玉一小会場)	優勝	玉一小A
サッカー	2位	玉一小A(須釜小会場)
サッカー	3位	川辺小
ミニバスケット	3位	須釜小

また、玉一小体育館で行われたミニバスケットは、玉川第一小学校Aチームが、準優勝となりました。大会の入賞チームは次のとおりでした。



優勝した玉川一小A対大久田小の対戦

トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—
役場総務課広報広聴係まで

夕方

丹内陽香
▲受賞した丹内さんの作品

丹内さん たなばた賞受賞

第44回福島県学生書道コンクールで、川辺小学校4年生の丹内陽香さんが「たなばた賞」を受賞しました。

福島民報社で受賞式が行われ、賞状と記念トロフィーが贈られました。



玉一小に優秀賞

緑の少年団活動発表

7/29

第26回福島県緑の少年団大会が大玉村のふくしま県民の森で開かれました。大会では、さきに行われた少年団活動実績発表大会の表彰式があり、玉一小緑の少年団が優秀賞を受賞しました。

夏の高校野球大会

真野目君(学石)甲子園へ

車田村長に出場を報告

7/29



村長から激励金を受ける真野目君(左)。中央は父親の正昭さん

第81回全国高等学校野球大会(甲子園)で学法石川高校が優勝を収め、6年ぶり9度目の甲子園出場を決めました。

学法石川の三塁手でトップバッターの真野目雄治君(山新田)は、父親の正昭さんとともに役場を訪れ、車田村長に県大会優勝と甲子園出場を報告しました。

車田村長は「甲子園は暑いでしょうから、健康に注意して頑張ってください」と話し、村からの激励金を贈りました。

さつき展 特別優等賞を受賞

竜崎の伏田さん

6/13

日本皐月協会福島県南支部のさつき展で、伏田章さん(竜崎)が「小品の部」と「盆養銘木の部」の両部門で特別優等賞を受賞しました。

伏田さんは、さつきの趣味について「ボケ防止と仲間づくりに最適です。これからも楽しみたいです」と話していました。



社会を明るくする運動

本村で開催

7/8

犯罪や非行のない明るい社会を築くことを



目的とした全国的な運動である第49回社会を明るくする運動が、本村及び石川・東白川地区保護司会の主催により、マーヴェラス末広で開かれました。

地区内の関係機関及び団体から180名が出席して、社会を明るくする運動広報用映画の鑑賞や講演会などを通して非行防止の研修を行いました。



～ 玉川村少年球技大会より ～

8月9月の健康ごよみ

- 8月
 - 17日(金) ツベルクリン反応検査 須 受
 - 午後1時30分～
 - 19日(木) ツベルクリン判定及びBCG接種 須 受
 - 午後1時30分～
 - 20日(金) 股関節脱臼検診 石保 受
 - 午後1時30分～2時
 - 27日(金) 機能訓練 保 受
 - 午前10時～
- 9月
 - 6日(月) 機能訓練 保 受
 - 午前10時～
 - すくすくクラブ 保 受
 - 午前10時～
 - 7日(火) 母親教室 保 受
 - 午前9時30分～
 - 育児教室 保 受
 - 午後1時30分～
 - 8日(水) ポリオ予防接種 須 受
 - 午後1時30分～
 - 9日(木) ポリオ予防接種 保 受
 - 午後1時30分～
 - 10日(金) 1歳児相談会 保 受
 - 午後1時30分～
 - 14日(火) 子宮がん集団検診 須 受
 - 午前9時～9時30分
 - 午後1時30分～2時 保 受

保:保健センター 須:須釜公民館
石保:石川町保健センター 受:受付時間

伝言板

マラソンの中山選手が来村

第1回福島空港玉川健康マラソン大会



(中山選手のプロフィール)

1959年12月20日生まれ。長野県北安曇郡池田町出身。池田工業高等学校を卒業。85年広島ワールドカップで自己記録2時間08分15秒で2位、86年ソウルアジア大会優勝、88年ソウルオリンピック4位、92年バルセロナオリンピック4位など輝かしい記録で日本のエースとして活躍した。

9月26日(日)に行われる第1回福島空港玉川健康マラソン大会の招待選手として元オリンピック入賞選手の中山竹通選手(大阪産業大学高等学校陸上部監督)が来村します。沿道でのご声援をお願いします。

障害のあるお子さんのために

特別児童扶養手当

特別児童扶養手当は、身体または精神に障害のある児童を監護又は養育している人に支給されます。

(受給資格者)

身体又は精神に中度または重度の障害を有する20歳未満の児童を監護している父もしくは母、または父母にかわって児童を養育している人。

(手当を受ける手続)

手当を受けるには、村健康福祉課福祉係に備えてある請求書に次の書類を添えて提出してください。

- ①請求者と児童の戸籍謄本
- ②請求者と児童が属する世帯の住民票謄本
- ③所定の診断書

(手当の額)

- 1級該当児童1人につき 月額 51,250円
- 2級該当児童1人につき 月額 34,130円

◆問い合わせ先 村健康福祉課福祉係 ☎57-4623

母と子どものしあわせのために

児童扶養手当

児童扶養手当は、父と生計を同じくしていない児童が育てられている家庭の生活の安定と自立を助けるために、児童の母や母にかわってその児童を養育している人に支給されます。父と生計を同じくしていても、父親が心身に重度の障害がある場合には支給されます。

(手当を受ける手続き)

手当を受けるには、村健康福祉係に備えてある請求書に次の書類を添えて提出してください。

- ①請求者と児童の戸籍謄本
- ②請求者と児童が属する世帯の住民票謄本

(手当の額)

- 児童1人のとき 月額 42,130円
- 児童2人のとき 月額 47,130円
- 児童2人以上のとき 指導1人増すごとに3,000円加算

◆問い合わせ先 村健康福祉課福祉係 ☎57-4623



寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 竜崎の湯沢康雄さん
- 川辺の大和田和子さん
- 蒜生の真弓正光さん

(村社会福祉協議会)

村のようす

(11年8月1日現在)

- 1,786戸(+4)
- 7,584人(+3)
- 3,741人(±0)
- 3,843人(+3)

お誕生おめでとうございます

(6月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川辺	味原 圭汰	浩之
小高	石川 友理	和典
岩法寺	溝井 健太郎	清盛
竜崎	石森 ゆうか	誠
南須釜	阿部 海岬	啓之
	高宮 涼	清

おくやみ申し上げます

(6月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
川辺	大和田 ツルヨ	72	庄治
蒜生	目黒 信夫	88	廣行
中	真弓 豊治	85	正光
竜崎	小林 静江	64	武男
南須釜	湯澤 要次	79	康雄
	若松 健一	50	幸広

花愁短歌会玉川支部詠草集

村公民館

杖を頼りに歩むも時に気を遣う庭という名の石ころの道
桃の木に鳥のごと止まり枝を打つ人影見えて春光満つ
青畳擦りゆく風が醒めよとて午睡のわれの頬も撫でてゆく
露払いの愛犬はゆく従いてわれも登り鎮守の森に
眩暈して臥せし四月の二日間窓に訪い来るうぐいすの声
腕力の劣ろうも振る鍬先に早くも伝わる匂の味わい
満ち足れば見えず聞こえず人の声今反省の冥目の日日

- 小針 守次
- 小針 みね子
- 小針 愛子
- 吉田 英祐
- 登那木 きみ
- 川田 吟庵
- 川崎 雄子

今月の納税

村 民 税	第2期
国民健康保険税	第2期
国民年金保険料	8月分

【納期限は8月25日(水)です。忘れずに納めましょう。】

法務局石川出張所が統合廃止

福島法務局石川出張所は、9月27日(月)をもって当局須賀川出張所へ統合となります。同日から石川郡内の町村に属する登記事務は、須賀川出張所での取扱いとなります。須賀川出張所の所在地は、次のとおりです。
〒962-0844
須賀川市東町135-1
福島県法務局須賀川出張所
☎0248-73-2598

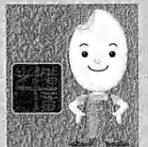
ポケモンジェットがまたやってくる

8月28日(日)午後2時から3時30分までの間、福島空港に全日空ポケモンジェットが就航します。周辺住民の皆様には、道路混雑等でご迷惑をおかけしますが、御協力をお願いいたします。
(福島空港管理事務所)



ご存知ですか 「備蓄米」

主食である「おこめ」を安定して消費者の皆様にお届けするため、食糧庁の行っている「備蓄」をご存じですか。「備蓄」は、不作の時に備えて、通常一定量を一年間、政府指定倉庫に低温保管し豊作・不作等の影響を極力緩和し消費者の皆様には、「安定して」「安全な」お米を、供給するシステムです。価格も市場価格の乱高下を防止することに
より安定し
ます。
「低温保管米とは？」
備蓄される
大事な「おこめ」は、その「おいしさ」が損なわれないよう、15度以下の低温で保管され「味」や「栄養分」はもとより害虫やカビからお米を守ります。(どう売っているの?)
福島県に登録した「登録小売店」で「たくわえくん」の愛称で販売されています。
福島食糧事務所計画流通課
☎024-534-4141

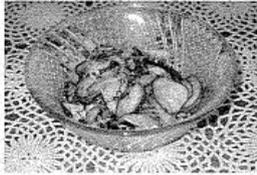


シリーズ 今日のお題⑮

今月のお題は

「香味野菜を上手に使って 夏を乗り切ろう」

「毎日暑くて食欲がなくて」という時こそ、香味野菜(木の芽、みょうが、青じそ、しょうが)、香辛料(カレー粉、こしょう、ニンニク、しょうが)、酢など上手に調理に使ってみよう。



これらのものは、消化液の分泌を促し、パテ気味の夏も美味しく食べることができます。

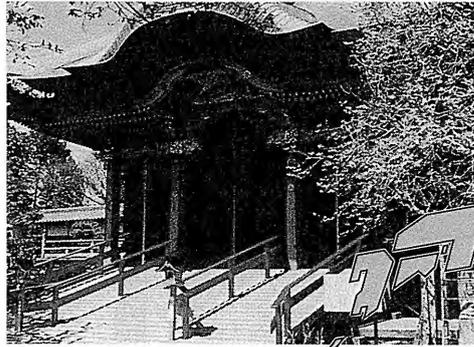
『夏野菜の香りしずく』 1人分エネルギー量 17Kcal

— 材料 —

- なす、きゅうり 各2本
- みょうが 5個
- しょうが 1かけ
- 青じそ 10枚
- 塩 小さじ1/2弱
- しょうゆ 数滴

— 作り方 —

- ① なす～へたを除いて縦半分に切って、斜め切り
きゅうり～2mm位の小口切り
みょうが～縦半分に切って、千切り
青じそ～縦半分に切り、千切り
- ② ボールに①を入れ、ざっくり混ぜ、塩を加えてよく揉む。汁気を絞って香りづけにしょうゆを2・3滴たらし出来上がり。



私のふるさと —千葉県柏市—

仁井田 弘子さん(竜崎)



私は、東京都北区の生まれですが、4歳頃に千葉県柏市に越しましたので、自分のふるさとと言えるのは柏市です。

柏市は、JR常磐線と私鉄東武野田線が、また国道6号線と16号線が交差する交通要所として、人や車の大変多いところです。

都心まで電車で30分ほどの距離に位置していることから、住民のほとんどは、東京に勤めている方が多く、東京のベッドタウンとして発展してきた街です。

子供時代、家の周りには、まだ田んぼがいっぱいありました。小

川の水もきれいで、友達とザリガニとオタマジャクシを取って遊びました。しかし、昭和40年代からは当時の面影は見られなくなっていました。

柏市には、サッカーJリーグの柏レイソルの本拠地「柏スタジアム」があつてサッカー熱が盛んです。柏スタジアムは私の実家から近いので、熱気溢れる応援の音が聞こえてきます。

柏市出身の主な有名人は、元中日ドラゴンズの谷沢選手や、元大相撲力士の麒麟児関がいらつしやいます。麒麟児関は、小、中学校時代の同級生でしたが頭が良くて、穏やかな方という印象でした。

東京玉川会コーナー

心に残る 我がふるさと 『故郷は変わった— 誇れるボランティアによる 花いっぱい運動』

千葉県松戸市
松本 光司さん(四辻新田出身)



私は昭和28年3月に須釜中学校を卒業と同時に就職をした、いわゆる集団就職列車で須賀川から上京した者の一人です。あれから46年が経過しました。一昨年は、還暦に当たり同級生が母畑温泉の八幡屋に集い、44年ぶりに再会をした級友とお互いの年を忘れ、語り合うことができました。

私は、四辻の出身ですが、転職、転勤で一時連絡がとれず、同級生名簿に転居先不明とされていた時期がありました。しかし再会できた皆さんとは、40数年の時間をすぐに取り戻すことが出来ました。その後、東京近隣の有志の方々とは何回か集う機会を得まして、この度の東京玉川会には、有賀五郎氏の紹介により初めて参加することが出来た次第

です。

車田村長のご挨拶の中で福島空港が国際空港となり、成田よりも便利な近隣地域の利用者も増えているとのこと、誠に同慶の至りです。

40～50年前には、こんなに立派な飛行場が出来ることなど想像出来なかつたことです。空港を中心とした開発も大変結構なことですが、自然環境の保全も残すべきものは残しながらの開発を願いたいと思っている一人です。

村長さんの話では、ボランティアによる花いっぱい運動を推進しているとのこと、大へん頼もしく郷土の誇りに思います。私が通学していた道路は立派な舗装道路となり快適そのものです。反面、小川の流れがコンクリートに固められ、これでは魚も住めなくなるのかなとちよつぱり淋しさを感じています。

いずれ老後は、田舎で暮らしたいなと憧れている昨今です。

